

令和2年3月10日

甲斐市議会議長 清水正二殿

甲斐市民クラブ 会派長 五味 武彦

颯新クラブ 会派長 有泉庸一郎

視察研修(2会派合同)報告書

下記日程、内容で2会派合同視察研修を実施しましたので、報告いたします。

日 時 11月5日(火)～7日(木)

参加者 甲斐市民クラブ 五味武彦、斉藤芳夫、滝川美幸

颯新クラブ 有泉庸一郎、小澤重則

研修先 愛媛県四国中央市役所 児童見守りシステム(保護者連絡網システム)、11/5

愛媛県新居浜市坂井町 あかがねミュージアム、11/6

香川県三豊市山本町、バイオマス資源化センターみとよ、11/6

香川県高松市 栗林公園商工奨励館。11/7

研修内容 ①**児童見守りシステム(保護者連絡網システム)について**

当市では老人クラブやボランティアグループによる小学生に登下校の見守り隊が、また学校と保護者には緊急連絡網が構成され、青色パトロール車も市内を巡回している。四国中央市はICTを利活用した効果的な防犯体制を目的のシステムを利活用した効果的な防犯体制を目的に、登下校管理システム・放課後児童クラブ入退室管理システム保護者連絡網配信機能など四国中央市政策部情報政策課より概要を研修、意見交換をした。主な内容は

- 1、登下校管理システムの概要
- 2、放課後児童クラブ入退室管理システムの概要
- 3、保護者連絡網配信機能などの概要
- 4、構築、実施までの経緯と機器導入などの予算
- 5、利用状況と保護者の反応と防犯効果

6、教職員の負担と管理体制など



写真左 四国中央市情報政策課での研修 右 四国中央市議会議場訪問

②あかがねミュージアム

現在、当市では山梨県の緑化センター跡地活用特別委員会を設置し、県から買い取る予定の跡地の約 25,100 m²(バス駐車場 4,100 m²含む)に緑化を利用してのフラワーアンドミュージアムの建設を目指しています。現在、DBO方式での構想で進んでいる。JR新居浜駅前土地区画整理事業の中核施設として、2015年7月8日に開館した総合文化施設。地下1階、地上3階建て、「新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループ」が指定管理者。建設部都市計画課及び美術館長他から研修、意見交換した。

主な内容は

- 1、区画整理事業の概要
- 2、建設までの議会と行政の動き、市民の反応
- 3、建設費と国県の助成額や公費導入額
- 4、指定管理の導入の経過と管理料



写真 あかがねミュージアム視察研修

③三豊市、(株)エコマスターバイオマス資源化センターみとよ

現在、当市では平成 27 年に選定されたバイオマス産業都市構想に基づき、木質バイオマス発電、木質バイオマス熱供給システム、温水利用システム、液肥・堆肥による農業振興プロジェクトを推進している。発電所については S P C により、市が建設用地を選定、4 年後に稼動予定で、議会ではバイオマス産業都市構想特別委員会を設置し、審議している。また、山梨県内で 3 ケ所に集約するごみ処理の広域化を進めており、当市を含む 11 市町は 2033 年に稼動予定となっております。土地の選定を始め、ごみの処理方法やリサイクルについての課題もあります。三豊市バイオマス産業都市構想は平成 25 年農林水産省や環境省の認定を受け、国内初のトンネルコンポスト方式による食品残渣、木質等からの肥料・固形燃料製造事業(バイオマスセンター)と竹資源利活用事業を軸に、太陽光や小水力の導入促進の取り組みを組み合わせ「廃棄物のないまち、環境にやさしいまち三豊市」の実現を目指している。今回は三豊市の P F I 方式の(株)エコマスターで梅田社長、センター長他が対応し、意見交換した。主な内容は

資源化センターみとよの建設までの経過と効果

- 1、コンポスト方式設備施設の現場紹介、
- 2、三豊市の環境政策、導入効果他
- 3、指定管理の経過



写真 三豊市資源化センターみとよ 現地視察研修

④高松市栗林公園 商工奨励館

明治 32 年に香川県博物館として誕生、昭和 13 年に商工奨励館に改め、本館は栗林公園の見所や歴史。ゆかりの人物などを紹介。北館はイベントやレセプションやパーティー会場。西館は食事処となっている。今回の視察、意見交換の内容は

- 1、誕生の経緯と商工奨励館活用の歴史
- 2、活用に対する行政の動き、県民の反応
- 3、指定管理(又は管理委託)の導入の経過と管理委託料
- 4、年間利用者数と収入額など経営状況と県の補填関係
- 5、各ブースの活用状況と栗林公園との共存策



写真 栗林公園内商工奨励館視察研修

以 上